

ThreeBond



2025 ALL JAPAN

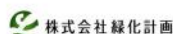
SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP

RACE REPORT



Round.10-11-12

SUZUKA CIRCUIT



這い上がれるか、最終大会

2025年のシリーズ最終大会「瑠子女王杯 2025年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第10戦・第11戦・第12戦 第24回 JAF鈴鹿グランプリ」が、11月21日(金)～23日(日)に三重県の鈴鹿サーキットで開催された。

当初は第11戦と第12戦の2レースで開催される予定だったが、前回富士スピードウェイでの第10戦決勝レースが悪天候のため不成立となり、急遽鈴鹿大会へ順延。これを受け、今大会は予定されていた第11戦・第12戦の公式予選と決勝レースに加えて、第10戦決勝レースが開催される3レース制大会となった。

3レース制となったことで変則的なタイムスケジュールとなり、21日(金)に60分間ずつ2回のフリー走行が行われ、22日(土)は、まず午前中に第11戦と第12戦の公式予選、午後には第11戦の決勝レース、翌23日(日)には午前中に第10戦の決勝レース、午後に第12戦の決勝レースが実施されることとなった。

第10戦の公式予選は、前回富士スピードウェイで終了しているものとして、富士大会の予選で決まったスターティンググリッドである15番グリッドが今回適用された。

ThreeBond Racingは、三宅淳詞選手、塚越広大監督、一瀬俊浩トラックエンジニア、そして富士大会から加わった佐々木大樹ドライビングアドバイザーという陣容で、鈴鹿サーキットでの最終大会に臨んだ。



Round.11 公式予選 (11/22 午前)

金曜日のフリー走行セッションをトラブル無く終えた翌22日(土)、秋深まった鈴鹿サーキットは晴天に恵まれた。午前8時の公式予選セッション開始時点での気温は13℃、路面温度は14℃と冷え込んだ。ウォームアップが難しいコンディションの中、三宅選手はQ1B組に出走した。金曜フリー走行での2回のセッションを通じ、狙い通りの感触が得られていなかったチームは、路温の低いコースコンディションと、コースイン順が後尾になることを考え、10分間の短いセッション時間の中で、最良のコース条件でアタックをするための戦略を選択。アタック待ちの渋滞によりタイヤが冷えるのを避けるため、セッション終了直前で三宅選手をタイムアタックラップに入れようと、ピットアウトのタイミングをコントロールした。しかし、タイヤのウォームアップとチームの指示したタイミングが噛み合わず、タイムアタックするために最終コーナーを全力で立ち上がった所でセッション終了となってしまう、三宅選手はタイムアタックが出来ずに第11戦の予選を終えてしまい、午後の決勝スターティンググリッドは22台中最後尾からと決まった。

Pos	No	氏名/予選タイム
1	15	岩佐 歩夢 / 1' 35.736
2	16	野尻 智紀 / 1' 35.945
3	65	イゴール・オオムラ・フラガ / 1' 35.976
-*	12	三宅 淳詞 / 1' 48.043(Q1 タイム)

※Q1A組トップ車両タイムから 107%以上のため、予選順位無し



Round.12 公式予選(11/22 午前)

第11戦の公式予選終了から約1時間後、第12戦の公式予選が行われ、三宅選手はQ1A組から出走となった。

直前の第11戦公式予選で、タイムアタック出来なかったことから、セッティングの良し悪しが分からない状況の中ではあったが、第11戦のセッティングから更に調整を加え、ピットアウトのタイミングには余裕を持ってタイムアタックに入った。

しかし、不可解なほどにタイムが伸びず、Q1A組のトップから2秒188遅れの11台中11番手に終わり、決勝のスターティンググリッドは全22台中21番手と決まってしまった。

Pos	No	氏名/予選タイム
1	15	岩佐 歩夢 / 1' 35.910
2	16	野尻 智紀 / 1' 35.973
3	64	佐藤 蓮 / 1' 36.192
21	12	三宅 淳詞 / 1' 38.215(Q1 タイム)



Round.11 決勝 (11/22 午後)

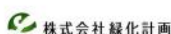
第11戦と第12戦の公式予選を終え、午後2時30分、第11戦のフォーメーションラップが開始された。しかし、スタートの直前で小高一斗選手の車両が故障し、車両撤去を行う必要が生じたため、決勝レースの周回数は当初の27周から26周と1周減算となり、出走台数も1台減少の中で、改めてフォーメーションラップを開始。午後2時49分から第11戦の決勝レースが始まった。

スタート合図とともに、最後尾から加速した三宅選手は、前のグリッドに並んでいた2台をイン側から一気にオーバーテイクし、19番手へと順位を上げた。直後に第2コーナーで岩佐歩夢選手の車両がコースオフしたため順位を18番手に上げ、この時点でセーフティカー(SC)が介入した。

レースは6周目から再開、三宅選手は18番手のポジションを守ってレースに入ったが、9周目に上位車両が単独でクラッシュしたため再びSCが介入。ちょうどタイヤ交換のためのピットインが許可される10周目を迎える所であり、セーフティカー介入中でのタイヤ交換の方がタイムロスが少ないことから、三宅選手を含む全車が一齐にピットへとなだれ込んだ。2台体制のチームは、先にピットに入った車両のタイヤ交換が終わるのを2台目が待たされることとなり、ThreeBond Racingは1台体制であることを逆に取り、ロスなくタイヤを交換し三宅選手をコースへと送り返した。この結果、三宅選手の順位は13番手となった。

レースは12周目から再開となり、14周目に前を走る19号車 オリバー・ラスムッセン選手を捉え、130Rでオーバーテイク。12番手となった。更に、17周目には同じく130Rで50号車の小出選手をかわし11番手に順位を上げ、20周目には39号車 大湯選手を抜き、いよいよポイント圏内の10番手となった。

残り3周となったホームストレートで、10周目のタイヤ交換で遅れていた64号車 佐藤蓮選手が迫り、アウト側から佐藤選手の先行を許して11番手へ後退。しかし、三宅選手の前には佐藤選手に抜かれた3号車 山下選手が見えてきた。三宅選手は残り2週の段階からオーバーテイクシステムを使い続け、ファイナルラップのバックストレートで山下選手のスリップストリームに入り、山下選手をオーバーテイク。10番手を取り戻し、そのままチェッカーフラッグを受けた。この結果、今シーズン初めての選手権ポイント1点を獲得することとなった。



Round.10 決勝 (11/23 午前)

第11戦決勝レースから一夜明けた23日(日)、鈴鹿サーキットは前日に引き続き晴天となった。午前9時50分から、前回富士大会から順延となった第10戦決勝レースが行われた。

公式予選は、前大会で完了しており、15番手のスターティンググリッドが今回適用された。決勝レースは周回数19周で、タイヤ交換義務のないスプリント形式で行われた。

スターティンググリッドに並んだ三宅選手は、スタート合図で加速し、右前に並んでいた14番手スタートの20号車 高星選手を抜いて第1コーナーへ飛び込んだ。その後は中位集団に続いての走行が続くも、7周目に入るホームストレートで28号車 小高選手をオーバーテイクし、13番手に進出した。更に、前を行く50号車 小出選手に近づくも、車両の後方に生じる乱気流に阻まれ14号車 大嶋選手、38号車 阪口選手、50号車 小出選手との集団での走行が続いた。

11周目、スプーンカーブからオーバーテイクシステムを使った三宅選手は130Rで小出選手を追い抜き、12番手へ上がった。続けて、阪口選手にも迫ったが、追い抜くことは出来ず、12位のまま19周を走りきって、チェッカーフラッグを受けた。



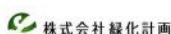
Round.12 決勝 (11/23 午後)

今シーズン最終戦となる第12戦のフォーメーションラップが、23日(日)午後2時30分から始まった。31周で行われる第12戦は1周目からフィニッシュまでに1回のタイヤ交換が義務づけられている。21番手からのスタートとなった三宅選手はスタート直後の位置取りの中で最後尾となったことを受けて、チームと相談の上で、早めにピットインを行う作戦を取ることを決定。1周目でのピットインをしようとするも、1台前の車両がピットインしたことを見て、あえてピットインを1周遅らせ、前が空いた走りやすい状態でもう1周走った上でピットインを行い、タイヤを交換した。

三宅選手は最後尾でコースに復帰となったが、戦略通り周囲に車両がない状況となり、自分のペースで走行を続け、上位を走る選手との間隔を縮めにかかった。

上位陣が徐々にタイヤ交換のピットインを始める中、11周目に39号車 大湯選手と29号車 野中選手が接触する事故が発生、SCがレースに介入することとなった。この時点でまだタイヤ交換をしていなかった車両が全車ピットインし、コースに復帰したが、三宅選手はこの時点で16番手へと順位を上げていた。

レースは15周目に再開し、三宅選手はチームとの無線交信で前後車両のオーバーテイクシステムの使用状況をこまめに確認しながら走行を続けた。16周目には4号車ザック・オサリバン選手の背後に迫り、スプーンカーブの立ち上がりからバックストレートにかけ順位を入れ替えた。更に三宅選手は前を走る3号車 山下選手に近づこうとしたが、燃料を多く積んだ状態で早めにタイヤ交換をした三宅選手のタイヤ消耗は早く、ペースを上げることが難しくなってきた。その後、レース終盤となった29周目に、後方から接近してきた7号車 小林可夢偉選手を抑えることが出来ず16番手に後退。そのまま残り2周を走ってチェッカーフラッグを受け、レースを終えた。



ドライバー:三宅淳詞 コメント

第11戦の予選に関しては朝8時で路面温度も低く、出来る限り状態の良い路面で計測しようとセッション終了時間のギリギリで計測ラインが通過出来る様に周回したのですが、計測に間に合わず、タイムを記録出来ませんでした。第12戦の予選についてはマシンのセッティングを変えて臨みましたが、思ったよりもフィーリングが良くなり、後位に沈んでしまいました。

このままではどうにもならないので、第11戦決勝では、前回の富士大会のセッティングに近い、今まで鈴鹿では試したことのない方向に大きくセッティングを変更しました。すると、上位を狙えるペースで走れ、ピットインやSC介入のタイミングも上手く働いて、ポイントが獲れました。翌日の第10戦も、良い手応えでレースをすることが出来、続く第12戦はSC介入のタイミングがチームで考えていた作戦とはうまく噛み合いませんでしたが、今シーズンのロングランでは1番良いフィーリングで走れました。

久しぶりにスーパーフォーミュラでしっかりとレースが出来たように感じています。今シーズンは本当に辛い状況の中で、チーム全員で試行錯誤してきましたが、今回ピット作業もミス無く非常に早くタイヤ交換が実施できたこともあり、結果が出せて本当に嬉しいです。1ポイントのみではありますが、チームにとっても自身にとっても、大きな1ポイントだと思います。



監督:塚越広大 コメント

第11戦の予選は、ミスが重なりアタックが出来ず、決して良い内容ではありませんでした。第12戦の予選も、全く不可解な結果に終わってしまった、というのが正直な気持ちです。ただ、第11戦決勝レースで今年初のポイントを獲得できたことは、チームの大きな活力になりました。三宅選手はもちろん、チーム全員が諦めることなく頑張ってくれたレースでした。ただ、レース展開に助けられた面も大きく、やはり実力で順位を勝ち取れるようにしなければいけません。確かに、今回の3レースは、周囲と対等に戦うことができて、良かった部分もあります。しかし、更に上を目指すべく、気を引き締めていかなければいけません。

1年間戦ってきて、安定して車両を走らせられなかったことは大きな反省点です。



トラックエンジニア:一瀬俊浩 コメント

今回、新しい思想を取り込んだセットアップを持ち込みましたが、走り始めは調子が良いのですが、徐々にタイムが落ちていく傾向が出てしまいました。加えて、第11戦の予選では、走り出しのタイミングを自分が攻め過ぎたこともあって、タイムアタック自体が出来ませんでした。第12戦の予選は不可解ですが、何故か想定していたパフォーマンスが出ませんでした。第11戦の決勝に向けては考えを切り替えて、思い切った調整を加えた所、決勝ではペースが良く、中団勢同等以上のペースがあり、レースの展開にも助けられ、ポイントが獲得出来ました。

第10戦も複数台の追い抜きには成功しましたがポイントには届かず、第12戦はスタート位置が後方だったため、早めのピットインを行う戦略としましたが、予想以上に同じ戦略を採るチームが多く、他車との集団に入ってしまった上に、SCまで入ってしまい戦略が外れてしまいました。第11戦では流れが良い方向に行きましたが、第12戦は逆となりました。





Round.11 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	52' 03.951
2	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	52' 05.110
3	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	52' 09.685
4	1	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	52' 11.635
5	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	52' 12.590
6	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	52' 22.278
7	8	福住 仁嶺	Kids com Team KCMG	52' 24.866
8	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM'S	52' 25.087
9	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	52' 27.410
10	12	三宅 淳詞	ThreeBond Racing	52' 29.756
11	3	山下 健太	KONDO RACING	52' 30.240
12	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	52' 32.409
13	50	小出 峻	San-Ei Gen with B-Max	52' 33.542
14	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	52' 38.989
15	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	52' 40.123
16	29	野中 誠太	KDDI TGMGP TGR-DC	52' 40.491
17	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	52' 42.831
18	20	高星 明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	52' 45.367
19	19	オリバー・ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	52' 49.851
	4	ザック・オサリバン	KONDO RACING	-
	15	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN	-
	28	小高 一斗	KDDI TGMGP TGR-DC	D.N.S.





Round.10 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	31' 45.406
2	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	31' 47.260
3	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	31' 50.584
4	15	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN	31' 51.081
5	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	31' 54.611
6	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	31' 55.094
7	1	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	32' 05.940
8	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	32' 06.467
9	8	福住 仁嶺	Kids com Team KCMG	32' 13.120
10	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	32' 17.380
11	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	32' 18.384
12	12	三宅 淳詞	ThreeBond Racing	32' 18.963
13	50	小出 峻	San-Ei Gen with B-Max	32' 20.075
14	3	山下 健太	KONDO RACING	32' 22.042
15	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	32' 22.670
16	28	小高 一斗	KDDI TGMGP TGR-DC	32' 24.543
17	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM'S	32' 25.138
18	29	野中 誠太	KDDI TGMGP TGR-DC	32' 26.432
19	20	高星 明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	32' 30.004
20	4	ザック・オサリバン	KONDO RACING	32' 30.911
21	19	オリバー・ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	32' 33.499
22	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	32' 36.565





Round.12 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	15	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN	57' 05.362
2	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	57' 06.093
3	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	57' 11.159
4	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	57' 11.977
5	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	57' 14.609
6	8	福住 仁嶺	Kids com Team KCMG	57' 18.355
7	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	57' 19.398
8	1	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	57' 22.568
9	50	小出 峻	San-Ei Gen with B-Max	57' 23.894
10	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	57' 28.268
11	28	小高 一斗	KDDI TGMGP TGR-DC	57' 28.928
12	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM'S	57' 32.969
13	20	高星 明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	57' 34.014
14	3	山下 健太	KONDO RACING	57' 34.743
15	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	57' 36.230
16	12	三宅 淳詞	ThreeBond Racing	57' 38.581
17	4	ザック・オサリバン	KONDO RACING	57' 43.466
18	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	57' 44.644
19	19	オリバー・ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	57' 44.863
20	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	57' 47.056
	29	野中 誠太	KDDI TGMGP TGR-DC	-
	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	-





Drivers & Team Ranking

順位	ドライバー	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			鈴鹿	鈴鹿	もてぎ	もてぎ	AP	富士	富士	SUGO	富士	鈴鹿	鈴鹿	鈴鹿
1	岩佐 歩夢	124	2+15	2+11	0	11	0	11	15	3+20	0	8	3+0	3+20
2	坪井 翔	119.5	8	15	8	0	20	2+20	3+11	8	2+7.5	4	8	3
3	太田 格之進	118	1+20	1+0	2+15	2+20	0	1	2+20	3	2	1+11	6	11
4	牧野 任祐	113	1	20	3+20	1+15	5	6	2	1	4	3+15	11	6
5	野尻 智紀	94.5	3+4	3+8	2	1	3+15	3+15	0	0	1+5.5	6	2+20	2+1
6	イゴール・オオムラ・フラガ	77.5	0	6	1+11	2	3	2	0	5	1.5	2+20	1+15	8
7	佐藤 蓮	56	11	5	0	0	8	0	1+5	0	3	5	2	1+15
8	サッシャ・フェネストラズ	50	0	0	3	8	0	0	6	2+15	3+10	0	3	0
9	福住 仁嶺	39	0	0	6	0	2	1+8	0	11	0	2	4	
10	阪口 晴南	38	5	0	5	6	6	4	0	1+6	1	0	0	4
∴	∴													
18	三宅 淳詞	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
-	ジユジュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	オリバー・ラスムッセン	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
-	小林 利徠斗	0	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
-	野中 誠太	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0
-	高星 明誠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	小高 一斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	平良 響	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-

順位	チーム	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			鈴鹿	鈴鹿	もてぎ	もてぎ	AP	富士	富士	SUGO	富士	鈴鹿	鈴鹿	鈴鹿
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	215	1+20	20+0	20+15	15+20	5+0	6+1	2+20	1+3	4+2	15+11	11+6	6+11
2	TEAM MUGEN	188.5	15+4	11+8	0+2	11+1	0+15	11+15	15+0	20+0	0+5.5	8+6	0+20	20+1
3	VANTELIN TEAM TOM'S	157.5	8+0	15+0	8+3	0+8	20+0	20+0	11+6	8+15	7.5+10	4+0	8+3	3+0
4	PONOS NAKAJIMA RACING	127.5	11+0	5+6	0+11	0+2	8+3	0+2	5+0	0+5	3+1.5	5+20	2+15	15+8
5	Kids com Team KCMG	61	6+0	2+0	0+6	3+0	4+2	0+8	8+0	0+11	0+0	0+2	0+4	0+5
6	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	58.5	5+0	0+4	5+0	6+4	6+1	4+3	0+4	6+0	1+2.5	0+3	0+0	4+0
7	KONDO RACING	29.5	2+3	0+0	4+0	0+0	11+0	0+0	3+0	2+4	0.5+0	0+0	0+0	0+0
8	docomo business ROOKIE	19	0	1	1	5	0	5	1	0	0	1	5	0
9	San-Ei Gen with B-Max	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10	ThreeBond Racing	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
-	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0
-	KDDI TGMGP TGR-DC	0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0

